

# 2025 環境活動レポート

## 溝口鍍金株式会社

# For a change



I・事業活動の概要

II・環境方針

III・EA21組織図

IV・環境目標と実績

V・環境活動計画

VI・環境関連法規

VII・代表者全体評価

VIII・代表者コメント

活動期間  
2025年3月～2026年2月

作成日 2026年4月15日

# I - 事業活動の概要

## 1 事業所名及び代表者名

溝口鍍金株式会社

代表取締役社長 溝口 貴輝



## 2 所在地

本社工場 茨城県鹿嶋市平井 1 3 3 8 - 3

灘工場 茨城県鹿嶋市平井 2 2 7 9 - 1 1

<http://www.mepco.co.jp>

※認証登録済み

## 3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者

連絡先

: 溝口沙織

: TEL 0299-83-0511

: FAX 0299-83-1351

## 4 事業内容

金属表面処理、化学研磨

## 5 事業規模

### 本社工場

活動規模	単位	2023年	2024年	2025年
化学研磨	kg	公表不可	公表不可	公表不可
従業員	人	7	7	7
床面積	m <sup>2</sup>	5056.19	5056.19	5056.19

### 灘工場

活動規模	単位	2023年	2024年	2025年
建材住宅	キャリア回数	12,621	14,439	17,029
輸送用機器	km	7,852	6,656	7,186
化学研磨	kg	公表不可	公表不可	公表不可
従業員	人	20	20	20
床面積	m <sup>2</sup>	9957.51	9957.51	9957.51

### 全体

活動規模	単位	2023年	2024年	2025年
建材住宅	t	12,621	14,439	17,029
輸送用機器	km	7,852	6,656	7,186
全従業員	人	27	27	27

## II-環境方針

### EA21 環境方針

私たちのメッキ（表面処理）事業を主体とする企業は、産業界の最終工程を受け持つ作業が多く大手発注先のコスト低減要請を図るため、装置化などを優先的に躍進してまいりました。しかし、電力は、無限に供給される時代から転換せざるを得ない時代を迎え企業独自の環境負荷低減策を講じ数々の項目に対し、下記のように実施する。

#### 1. 環境への取組み

- (1) 電力費の更なる低減
  - A. 工程内不良低減活動
  - B. めっきの膜厚管理
- (2) 使用水量の低減
  - A. 再生処理水の利用
  - B. 原水の水質管理
- (3) 廃棄物低減
  - A. スラッジ含水率低減
  - B. 不燃、可燃、木製パレット、PVC
- (4) CO<sub>2</sub>低減
  - A. 電力供給会社の選定
  - B. 作業効率改善
- (5) 化学薬品使用量の低減
  - A. 自社内リユースの推進
- (6) エコアクション21で推奨する、課題とチャンスに取り組む

2. 関連法規や条例など要求される事項を厳守します。

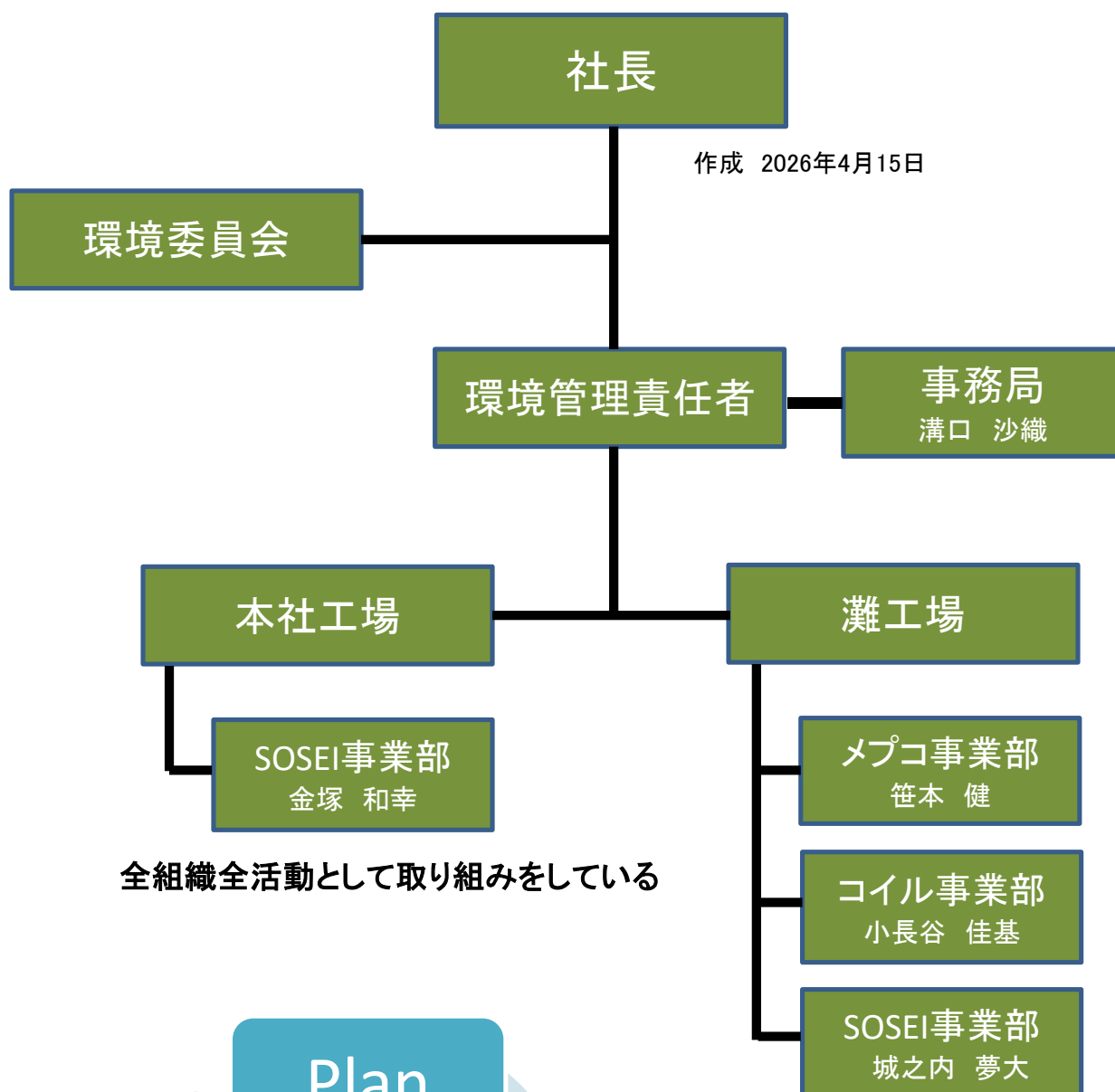
3. 環境教育により、社員の環境に関する意識の向上を図ります。

4. 環境方針は、全社員、関係企業に周知するとともに、社外に公表します。

制定日 2008年10月1日

改定日 2026年4月10日  
溝口鍍金株式会社  
代表取締役社長 溝口 貴輝

### Ⅲ・EA21組織図



## IV・環境目標と実績 全体

注記：年度は西暦

目標項目			目標値			関係部門	責任者
目標項目	基準	単位	25年度(25/03~26/02)		評価結果 ○×		
			目標値	実績値			
電気使用量の削減	2023年105万kwh比	kwh/百万円		109万	○	全部門	部門長
	売上高(百万円)原単位 2512kwh/百万円		2512kwh/百万円	2124kwh/百万円			
廃棄物(スラッジ)の減量化	2023年72.5t比	t/百万円		70.5t	○	全部門	部門長
	売上高(百万円)原単位 0.17t/百万円		0.17t/百万円	0.14t/百万円			
使用水量の減量化(上水)	2023年2650m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> /百万円		2868m <sup>3</sup>	○	全部門	部門長
	売上高(百万円)原単位 6.34m <sup>3</sup> /百万円		6.34m <sup>3</sup> /百万円	5.59m <sup>3</sup> /百万円			
使用水量の減量化(工水)	2023年17840m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> /百万円		18318m <sup>3</sup>	○	全部門	部門長
	売上高(百万円)原単位 42.7m <sup>3</sup> /百万円		42.7m <sup>3</sup> /百万円	35.7m <sup>3</sup> /百万円			
CO <sub>2</sub> 削減	2023年422t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub> /百万円		326t	○	全部門	部門長
	売上高(百万円)原単位 1.01t-CO <sub>2</sub> /百万円		1.01t/百万円	0.63t/百万円			
化学物質使用量の低減	2023年2668kg	kg/百万円		2789kg	○	全部門	部門長
	売上高(百万円)原単位 6.38kg/百万円		6.38kg/百万円	5.43kg/百万円			

2011年度から売上高原単位の単位を変更

実績値計算式：実績/基準値\*100

2020年度出光グリーンパワー二酸化炭素実排出係数0.300(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

売上高原単位 360

## IV-環境目標 本社・灘工場

目標項目			年度別目標値		
目標項目	基準	単位	2026年度 (2026年3月 ~2027年2月)	2027年度 (2027年3月 ~2028年2月)	2028年度 (2028年3月 ~2029年2月)
			目標値	目標値	目標値
電気使用量の削減	2023年105万kwh比 2512kwh/百万円	kwh/百万円	2%減	3%減	4%減
廃棄物（スラッジ） の減量化	2023年72.5 t 比 0.17t/百万円	t/百万円	2%減	3%減	4%減
使用水量の減量化 （上水）	2023年2650m <sup>3</sup> 6.34m <sup>3</sup> /百万円	m <sup>3</sup> /百万円	2%減	3%減	4%減
使用水量の減量化 （工水）	2023年17840m <sup>3</sup> 42.7m <sup>3</sup> /百万円	m <sup>3</sup> /百万円	2%減	3%減	4%減
CO2削減	2023年422 t-CO <sub>2</sub> 1.01t-CO <sub>2</sub> /百万円	t-CO <sub>2</sub> /百万円	2%減	3%減	4%減
目標項目	基準	単位	目標値	目標値	目標値
化学物質使用量削減	2023年実績2668kg 6.38kg/百万円	t/百万円	2%減	3%減	4%減

## V-主要な環境活動計画の内容

### 1 電気使用量の削減 (売上高原単位) 2%減

#### 【メプコ事業部】

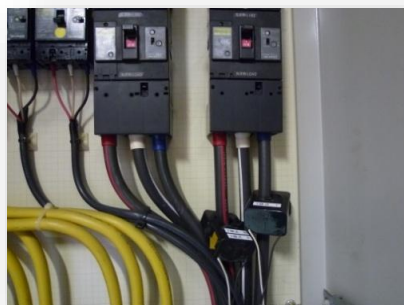
- ★工程内不良の低減
- ★事業内容見直し
- ★品質向上と作業環境改善

#### 【コイル事業部】

- ★めっき用電源の管理
- ★エアー漏れチェック
- ★設備最適化 モーター台数削減

#### 【SOSEI事業部】

- ★こまめな照明の消灯
- ★コンプレッサーのエアー漏れ点検



### 2 廃棄物 (スラッジ) の減量化 (売上高原単位) 2%減

#### 【メプコ事業部】

- ★搬出前の乾燥
- ★フィルタープレス濾布定期洗浄

#### 【コイル事業部】

- ★機器修理

#### 【SOSEI事業部】

- ★有価資源の回収

- ★フィルタープレス濾布定期洗浄
- ★排出前の水分除去



### 3 使用水量の減量化 (売上高原単位) 2%減

#### 【メプコ事業部】

- ★水洗水の自動更新再改善

#### 【コイル事業部】

- ★冷却水のリユース

#### 【SOSEI事業部】

- ★定期的なドレン



### 4 CO2削減 (売上高原単位) 2%減

- ★電気使用量の低減活動になる設備導入

### 5 化学物質削減 (売上高原単位) 2%減

- ★化学物質の再利用方法を考えること

## VI・環境関連法規の違反・訴訟の有無

- ◆環境関連法規等の違反における関係当局からの指摘及び訴訟は過去3年間ありません。
- ◆当社が行った環境関連法規の遵守状況の結果は下記の通りです。

評価結果 ○：遵法である △：遵法性に一部疑問がある又は評価することが難しい（判断するための調査を行う） ×：明らかに遵法性に欠けている（不適合扱いとして是正を行う）

適用対象の作業及び施設/環境側面	主要な適用法令名称	主な適用状況						遵法性評価結果	
		許可/届出	測定/定期点検	維持管理	記録/報告	選任/資格者	その他		
一般ゴミの排出(事業系一般廃棄物)	事務所の紙ごみ、生ゴミ	廃棄物処理法			・委託契約書			○	
					・条例に基づく分別及び排出	作成 2026年4月10日			○
産業廃棄物の排出	汚泥(脱水ケーキ)、廃酸、廃アルカリ、特管物、廃プラ、金属くず	廃棄物処理法			・委託契約書			○	
					・マニフェスト	2025年3月～2026年2月			○
					・廃棄物置き場の保管状況				○
					・マニフェスト発行状況の定期報告				○
水の採取	工業用水	工業用水法 茨城県条例	・設置届出		・清掃	自動的		○	
					・定期点検				○
鍍金薬品の使用	別紙に詳細をまとめている	PRTR法				・帳簿の記載/移動量報告	・SDSの取得	○	
		毒劇物法	・毒物取扱者の県への届出		・紛失、盗難、飛散、漏洩等防止管理		毒物劇物取扱取得者 5名	○	
		労安法			・取扱い上の注意			・SDSの取得	○
		公害防止組織法					統括者・管理者の選任		○
排水処理(排水処理施設)	排水処理施設	水濁法					・公害防止管理者(水質2)取得者 5名	○	
			・設置許可		・変更の許可	・定期分析			○
重機の取扱い	2tクレーン4機、フォーク5台 構内用	労安法 オフロッド法		・1年以内の定期点検の実施(特定自主検査の実施)			技能講習修了	○	
局所排気装置の設置及び使用		労安法有機則又は特化則		・1年以内の定期点検の実施(特定自主検査の実施)			技能講習終了	○	
フロン排出	冷凍機(7.5kw)以上	フロン排出抑制法		・1年以内の定期点検の実施(特定自主検査の実施) R8.4.10点検	専門業者による点検	簡易点検記録	管理者	○	

## VII-代表者全体評価

環境管理責任者から提供された情報		環境管理責任者のコメント
①目標の達成度及び環境活動計画の実施状況 (文書名)別添5環境目標一覧表 別添6環境活動計画・実績表		比較年度の変更を行った
②法令等の遵守状況 (文書名)別添4環境法令等一覧表・遵守状況チェック表		遵守している。
③問題点の是正処置及び予防処置の結果 (文書名)別添17内部監査報告書、別添14不適合・是正処置報告書		上水を使用する受注が増えたため、使用量が増えている
④外部からの苦情等の受付結果 (文書名)別添10外部情報受付台帳、別添11外部情報受付対応記録		外部からの苦情等はない
⑤法令等の動向 (文書名)別添10外部情報受付台帳及び関連文書		水質汚濁防止法において、めっき業の暫定基準である、亜鉛の基準が改正になり4mg/L→2mg/Lになりそうだったが暫定基準が継続になった。
⑥その他のEMSに関する問題点 (文書名)環境方針、運用体制及びその他EMSに関するもの		削減する内容が一巡し、次なるステップへの展開が必要
代表者の環境管理責任者への指示事項	環境方針	変更の必要性 有 <input checked="" type="radio"/> 無 指示事項 カーボンニュートラルなど、時代は変化しているので それに合った方針へ更新する事が必要になってくる。
	環境目標	変更の必要性 有 <input checked="" type="radio"/> 無 指示事項 使用水量の減量化(上水)と化学物質使用量の低減において基準値の見直しをした。今後、基準値の正確性を検討する必要がある。
	EMSのその他の要素	変更の必要性 有 <input checked="" type="radio"/> 無 指示事項 ・各事業部担当者と、定期的な工程及び推進状況のチェック体制強化 ・EA21(社員への意識づけ)定期的全体ミーティングと担当者の評価

## VIII-代表者コメント

私達、鍍金工業に於いては、地球環境を汚染する要因物質を工場内で多く使用しており、これらを低減するため「エコアクション-21」に取り組むことになりました。

特に「電気」「水」「産業廃棄物」など環境への負荷は、生産ラインの稼働時間と共に増えてしまうのが現状です。そこで、すべての項目の負荷率を50%低減という目標を掲げ、ここ数年活動をしてまいりました。

電気使用量については、工程内不良を低減し売上に比例せず削減してきた。

廃棄物（汚泥・他）につきましても排出汚泥の分析結果、資源としてリサイクルできることが判明し現在では、処理単価50%削減。さらに処分委託先による再資源化が可能になりました。

また、受注量変化に応じた生産体制を構築し生産現場では感覚の可視化をすすめ、生産性向上を考えながら取り組んでいます。電気の供給先も定期的に見直しを行い二酸化炭素排出量が少ない電気を使用しています。

今後も「小さな改善・大きな効果」を旗印に全員参加を基本とし、より高い環境改善を目指します。